

No	分類	コメント
1	水質	本当はどこまでキレイにするつもりなのか?
2		一日でも早くきれいな霞ヶ浦に戻って欲しい。霞ヶ浦を有効に使うって経済効果にもつなげていきたい。
3		富栄養化の対策は十分でしょう。次は化学物質をやらないと水道水パニックになる。ppmの出来事と、pptの出来事の違いを勉強すべき。
4		発表の中にも何度かありましたが、一人一人に浄化に対する意識の高揚をはかることが重要であると思います。それにはどうしたらよいか今後の課題では?
5		浄化運動の一般的アピール。イベントの多角化。
6		私達に出来ること、家庭排水浄化に取り組んでいる。又、協会の地域経済プロジェクトで、食べれば食べる程霞ヶ浦がきれいになるということで様々な方面からメンバーが会合し、実践している。住民の意識を高めることに力を入れている。
7		霞ヶ浦の水質の悪化は河川からの流入水質の悪化も大きな原因ではないか 上流の人達と下流(霞ヶ浦)の人達の交流の場を作り水の利用状況からして水質浄化がいかに大切かを認識の場を作る。
8		①発表されるCOD値は一番高い時は見えてこない。飲料原水として許容を超えていることをもっと広報して実状を知りたい。②流域単独浄化槽の新設禁止と現在使用中のものは、強制清掃整備を義務化する。流域河川支流を歩くと深刻。
9		治水(農業)利水(工業)プランが生活共生(住民)の立場を後まわしにした結果が現状の汚濁を生んだ。これからは水質、環境保全優先の政策に重点をおいて欲しい。
10		①霞ヶ浦対策の起点は霞ヶ浦開発完成が原則。(漁業対策は補償済みでは?)②水質対策が最大の課題③環境対策は投資と効果の検証を。
11		霞ヶ浦は、農業・漁業をはじめに流域の上水・工水として無くてはならないものです。もっと茨城県のシンボルとして誇れるような湖になって欲しい。そのためには、水質浄化と植生の回復です。そのために、流域全体のプロジェクトとしてもっと徹底してやるしかない。
12	取り組み方	各行政機関、各産業面、市民等が各々どのようなことができるか役割を明確にすることが必
13		住民主体に考えて欲しい。もっとPRをして、霞ヶ浦＝汚いというイメージを変えるような方法を。県と国交省がもっと協力を。
14		本当の意味での各セクターの一体化が必要だと思う。そういう場に。また、それを継続する機関が生まれる場にできたらいいと感じた。会の結果をどう反映させるのか、明確にして欲しい。
15		霞ヶ浦流域について、1つの責任者、つまり茨城県に霞ヶ浦流域全体をまかせてはどうか。霞ヶ浦を短期間に泳げるようにするための方策を研究する場をつくって、浄化推進をすすめるべきでは。国土交通省の施策等、すべて市民の意見を聞いてやってほしい。市民の委託をうけて霞ヶ浦を管理しているという意識が感じられない。
16		地域住民無視はいけない。事実を知り、対処していかなければ行政側と公共事業に対して不満が多くなるのは、困る!!
17		霞ヶ浦が死んでいくことは、周辺市町村が死を迎えることであり、住民の生活の死を意味します。行政にあっても、費用対効果ばかり考えず、最善の方法は何か考え、施策していかなければと思います。
18		①現在、将来において霞ヶ浦は構造・構成改善が必要である。これは治水と利水に分かれるが、長期計画に基づく必要がある。長期では100年先までの行動目標の設定がいる。②長期計画を市民に示して欲しい。なければ作るようにして欲しい。このとき、今後、設定するならば計画の初期段階から市民参加を原則として欲しい。以上を纏めると、次のようになる。100年先まで見通した構造改善目標設定とその公開・公示③構造改善の展開は中期的に評価(レビュー)して進める必要がある。10年単位で見直し目標達成をするなどである。市民・住民の意向を正しく取り入れる場や方法の設定が必要である。纏めると、次のようになる。10年単位での評価と行政が個々でなく、特に国と県という構図でなく、一体化した取り組みが必要である。
19		①「霞ヶ浦は誰のものか」明らかにする。②対策の優先順位を明らかにする。③費用(対策コスト)を明らかにする。④科学的知見の対立点を明らかにする
20		①「霞ヶ浦は誰のものか」明らかにする。②対策の優先順位を明らかにする。③費用(対策コスト)を明らかにする。④科学的知見の対立点を明らかにする
21	環境・生態系	少年時代の原体験で最も印象深いのは、夏休み期間のシジミ取り。淡水シジミの増殖が出来ないか。
22		かつてのように魚が住める様な水作り。人々が都合で開発、その為、生態系が変わった。少しずつでも元の様に戻せれば。前浜及び水生植物帯を作る。住民フォーラムを定期的に。
23		湖岸の形状が大きく変貌し、水草帯が水辺から姿を消し、魚達は餌場を失い、隠れ場を失い、産卵場を失った。資源保護する事で関係団体のご協力を得たいと思う。
24		①流域の林野率の向上 林野率がワースト2 東京都並ということからの脱却(里山作り)②生物多様性 外来種のために固有種が少なくなってしまう魚への対策③霞ヶ浦をラムサール登録地にし、生物を守る。④湖岸対策・湖底対策 砂利取りをやめるなど
25		少なくとも100年先ぐらいは考えて持続可能な資源利用のあり方を模索する必要があると感じます。そのためには霞ヶ浦の生態系・生物多様性を保全し、早急に復元することが重要です。我が市民がそのための努力・行動を行うことはもちろん、公共事業を代行する行政がそのような意識をもつことが前提になると思います。

No	分類	コメント
26	水位	水位を上げることは沈水植物のさらなる衰退につながるのか。沈水植物は透明度の2倍以内で生育する。昨年水位が下がったら、沈水植物が増えた。
27		水位調整について: 植生帯の復元を大きなテーマとするのですから、自然に逆行する形はとるべきでないと考えます。 導水事業について: 必要性和課題を洗いなおすと、中止のほうがよい。 流域の河川について: 新川で何かよい形が取れないかと活動を始めています。
28		水位管理に関しては、利水の実態を踏まえ、水質浄化・生態系の保全を重視して、管理して欲しい。
29		霞ヶ浦の水位管理は霞ヶ浦の基本となるものであり、水位運用のあり方を議論すべきである。また、水質浄化についても、人とかかわりから流域一体となった具体的な取り組みを議論して実行していただきたい。
30		水に入れる様な水辺作りをして欲しい。(ゆるやかなスロープ的水辺)
31	泳げる	泳げる霞ヶ浦を一部でも出来るように考えています。
32		①霞ヶ浦の浄化についての責任の明確化②霞ヶ浦の施策についての情報の公開と、行政と研究者、市民との情報の共有③泳げる霞ヶ浦のモデル地域を作れないか④泳げるまでに浄化に成功した内外の先進湖沼地域への調査団の派遣⑤泳げる霞ヶ浦になった場合の経済効果・経済波及効果を調査研究しよう⑥霞ヶ浦浄化についての調査研究委員会発足の提案
33		泳げる湖にしてください。
34	流域の視点	霞ヶ浦にはたくさん問題があります。目に見えないもの、数十年後に顕在化するもの(水質問題など)、様々です。問題の多くは、流域の視点から霞ヶ浦に関係する全ての方々との理解と協力が必要ではないでしょうか?意見交換会はそのホームベースとなる場と思います。急ぐ問題、今から考えていくべき問題から議論したい。
35		総合的視点が必要。国交省だけでなく、環境省、厚生労働省、総務省、農水省などとの論議必要。霞ヶ浦導水事業、霞ヶ浦開発事業(逆水門)の根本的基礎的な論議がない。すべきである。
36		流域全体としての観点から考える必要がある。水産業→霞ヶ浦という考え方のみでなく、林業・農業・畜産業・工業なども含めて、意見交換会を開いて頂きたい。霞ヶ浦の有する、潜在的有効性をもっと考えて頂きたい。持続可能な発展の必要性。
37	教育	これからは子供に教育をしていくのが、これからの霞ヶ浦に一番必要かと思えます。
38		教育霞ヶ浦の所々に玉造町・旧牛堀町のような棧橋・レストランがあり、時々ボートに乗って遊んで来るような事を夢みていたが、その前に改善しなければならぬことがたくさんあることに気づいた。特に漁業関係は霞ヶ浦開発の犠牲になってしまったように思った。このまま漁業が衰退する事は茨城県民の恥と思う。「子供が自然から学ぶ知識は無限」のはずなのに教育のある部分が欠落してしまっただけかもしれない。児童を霞ヶ浦に連れて行った先生に拍手を送りたい。自然から学んだ子供達が大きくなって霞ヶ浦開発を計画すればそれは素晴らしい計画ができあがるのではないのでしょうか。その子供たちに笑われない霞ヶ浦計画を実施する義務が我々の世良い霞ヶ浦のイメージを共有するための方法をどうするか。ゴールの設定。
39	イメージの共有	たくさんの人々の多様な意見、考え方を生かして(一番難しいでしょうが)、共通の目的=きれいな、誇れる霞ヶ浦に向かうためには、「はばの広さ」が必要で、今日のような機会が定期的に必要であると思う。
40		○霞ヶ浦の全体像を把握する努力を!ーゆっくりとあせらずにー ○霞ヶ浦の歴史を学ぼう!ー湿地など(沿岸帯)の復活をー ○砂浜の浄化機能の大きさを科学的に評価し、泳げる砂浜の造成を!ワカサギの復活を! ○逆水門の開放時間の延長と除塩サイフォンによる塩害防止策の検討 ○霞ヶ浦の水位変動はできるだけ、自然に任せる ○流入河川の堰は可能な限り撤去して、霞ヶ浦へ砂礫を供給する
41	その他	霞ヶ浦における施設管理のあり方について話し合いを継続していきたい。湖岸に生まれ育った私にとって、この霞ヶ浦を望ましいかたちで子孫に残していくことは大切なことだと考える。霞ヶ浦の浄化に協力しながら、豊かなやすらぎのある景観を大切に、水に親しむ場を与え、人々の交流を促すことで地域の発展に貢献していきたいと考える。今後、遊休農地を作ったコンポストを使用する圃場として利用し、生産物を売り出す直売所をつくり、循環型の環境に優しい、霞ヶ浦浄化を実践していきたいと考える。浮島和田岬の公園に自然体験ゾーンをつくり、そこで水辺の環境や動植物自然とのふれあいが出来たらと考える。
42		①アオコが発生しない湖②漁獲量が増え後継者が安心して生活できる湖③流入河川合流点に橋梁の設置(防災対策)④浄化施設等維持管理費がかからない手法⑤湖岸堤への不法投棄
43		岸より、霞ヶ浦を見ているが、湖より岸を見る機会が欲しい。
44		初めて参加させていただきました。
45		霞ヶ浦については、最近さまざまな取り組みが行われていることを知りました。今後とも参加していきたい。
46		
	無回答	11件